令和3年度 学校評価計画書

学校名 三田市立母子小学校

1 学校教育目標

ふるさとを愛し よく考え 心豊かに たくましく生きる児童の育成

2 今年度の学校重点目標

- ・教職員としての資質や実践的指導力の向上に努め、子どもたちに「生きる力」を育む教育を推進する。
- ・複式学級の良さを生かした教育課程を編成し、少人数指導の充実を図りながら、個に応じた教育を実践する。
- ・地域とつながり、地域に信頼される学校(三田型コミュニティ・スクール)を目指して、地域の特性を生かした教育を実践する。
- ・教職員と児童・保護者・児童間の相互理解を深め、ともに生きる社会につながる教育を実践する。
- ※小規模特認校母子小学校の教育活動の様子を、オープンスクールや学校ホームページで積極的に発信する。
- ・教職員が心身ともに健康で、子どもと向き合う時間を確保できる職場環境づくりを進める。

3 自己評価項目

-		
分野・領域	頁域 評価項目(取組内容)	
教 育 課 程	・複式学級の良さを生かした教育課程を編成し、学び合いによる学力の	
学 習 指 導	伸長を図る。	
	・基礎的基本的な知識・技能を習得し、自己学習力の向上を図る。	
	・学びの場面での人々との交流を通して、表現力を育成する。	
生 徒 指 導	・あいさつ、掃除、宿題、学用品の用意等、基本的生活習慣の形成を図	
いじめ防止	ると共に集団生活の規律を守る態度を育てる。	
	・いじめに向かわない態度・能力を育てる。	

(別紙様式1)

道 徳 教 育 人 権 教 育 特別支援教育	・互いを思いやり、自他の命と人権を大切にする心を育む。
国際理解教育	・違いを認め、ともに生きる社会につながる態度を育てる。
防災・安全教育	・災害から身を守る態度や、安全に気をつけて生活する態度を育てる。
保護者・地域住民との連携	・地域を生かした教育内容を創造し、保護者や地域の人々の参画と協働 を得て、魅力あるコミュニティスクールを推進する。

4 学校関係者評価委員会

(1) 構成

氏 名	所属等	氏 名	所属等
今北 義明	母子区長	川嶋 弘則	母子小学校長
和田 良三	永沢寺地区代表	藤原 省吾	母子小学校教頭
戸出 成耕	民生委員・児童委員	橋本 直樹	母子小学校主幹教諭
渡邊 秀仙	母子小幼育友会会長		

(2)活動計画

時期 (月)	内 容
5月	第1回学校地域運営協議会(年間計画について)
6 月	授業参観(オープンスクール)ふれあい給食
9月	学校行事の参観(運動会等)
10月	授業参観(オープンスクール)
11月	学校行事の参観 (芸術のつどい等)
	第2回学校地域運営協議会(中間評価について)
2月	学校行事の参観 (授業参観等)
	第3回学校地域運営協議会(学校評価のまとめ)

※学校行事への参観は新型コロナ感染症拡大状況を鑑み実施